

担当商務官およびドイツ帝国外務省公使。1912～1934年までハンブルク所在金属工業取引業全独協会代表役員および協会長、ハンブルク金属取引所共同創立者及び同取引所理事長。永年、ドイツ・イスラエル病院（在ハンブルク）の理事長をつとめ、1933～38年までドイツ・イスラエル協会ハンブルク代表者であった。1938年11月より39年5月までフルスビュッテルの刑務所に勾留、スウェーデンに亡命、1944年スウェーデンに帰化。

10. Felix M. Warburg

1871年1月4日、ハンブルク生まれ。1937年10月20日、ニューヨークにて逝去。Max M. Warburg の弟。1895年、ニューヨークに渡り、1900年米国に帰化。1897～1937年まで Kuhn, Loeb & Co. 銀行の共同パートナー、同時に1914～1917年まで M. M. Warburg & Co. の共同パートナー。

11. Eric M. Warburg

1900年4月15日ハンブルク生まれ。1990年7月9日、同市にて逝去。Max M. Warburg の息子。ベルリン、フランクフルト所在大銀行にて研修、ロンドンはロスチャイルド銀行にて実務研修、ニューヨークでは International Acceptance 銀行にて実務研修。1929年 M. M. Warburg の共同パートナー就任。1938年米国に亡命、帰化。第二次大戦中は米陸軍高級将校。1949年、Brinckmann, Wirtz & Co. の有限責任社員就任、1956年10月1日に無限責任社員パートナーに就任、1982年に再び有限責任社員となった。1938年、ニューヨークに E. M. Warburg & Co. 銀行を創立、同行にライオネル・ピンカスの入社を得て、1970年に E. M. Warburg, Pincus & Co. と改称した。Eric はまた「大西洋の橋」財団の共同創立者である。

12. Siegmund G. Warburg

1902年9月30日、ウーラッハ市近郊のウーヘンフェルズ生まれ。1982年10月18日ロンドンにて逝去。1930年、M. M. Warburg & Co. の共同パートナーに就任、1934年3月ロンドンに亡命、1934年10月3日、ロンドンで New Trading Company を創立し、1939年4月英国籍を取得。New Trading 社は1946年、S. G. Warburg & Co. と改称した。1966年、貴族に列せられた。Brinckmann, Wirtz & Co. ハンブルクの有限責任社員であった。

13. Rudolf Brinckmann

1889年2月8日、トルコのイズミール生まれ。1974年1月2日、ハンブルクにて逝去。フライブルク、ミュンヘン、ベルリン、ボンの各大学で法律、経済学、オリエンタル言語学を修め1913年グライフスヴァルトにて法学博士号取得。ベルリンにてトルコ語通訳国家試験通過、フランクフルトにて銀行業務を習得、ドイツェバンクのコンスタンチノーブル支店に駐在した。1920年、M. M. Warburg & Co. に入社、主として国際関係業務を担当し、1931年、総支配人に昇任、1938年に共同パートナーとなった。1973年12月31日、無限責任社員の地位を退いた。

14. Paul Wirtz

1881年6月26日、ハンブルク生まれ。1946年12月28日、ハンブルクにて逝去。フーゴー・ヴィルツ商会（硝石-肥料商）所有者。1929年ロンドンのチリ硝酸塩会社代表取締役就任、1年間のチリ駐在後ハンブルクに帰任、1938年、M. M. Warburg & Co. の共同パートナー就任。1945年ハンブルク商工会議所会頭就任。

15. Christian Brinckmann

1927年9月24日、ハンブルク生まれ。バーゼル大およびケンブリッジ、マグダ

レーナ・カレッジで経済学を修め、バーゼルにて政治学博士号を取得。ハンブルクとニューヨークにて銀行業務習得。1961～1989年まで Brinckmann, Wirtz & Co. の無限責任社員。ドイツ、イラン商工会議所会頭。

16. Hans A. Wuttke

1923年10月23日、ハンブルク生まれ。ケルン、フランクフルトにて法律学を修学、サラマンカにて法学博士号取得。1949～1954年まで Dresdner 銀行勤務、1955～1961年までダイムラーベンツ社役員、1961～75年まで Brinckmann, Wirtz & Co. の無限責任社員。1969年以降、S. G. Warburg の代表役員、Effekten-Bank Warburg AG フランクフルトの監査役会副会長。1975～81年にはドレスナー銀行の代表役員を経て、ワシントン DC の世銀グループの IFC (国際金融公社) の総裁も務めた。

17. Max Warburg

1948年3月14日、ニューヨーク生まれ。ハンブルク大で経済学、ハンブルク、フライブルク、ハイデルベルクで法学を修め、ハンブルクの上級公務員試験通過。銀行業はチェース・マンハッタン銀行および S. G. Warburg & Co. ロンドンで学ぶ。M. M. Warburg-Brinckmann, Wirtz & Co. の Direktor に1978年、無限責任社員に1982年に就任。ハンブルク銀行協会役員、同証券取引所役員、ドイツ開発公社監査役、ホルシュタイン醸造ハンブルク、ドイツ証券貯蓄公社の各々監査役会会員。

[以上]